

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	情報科教育法B(Educational Method for Informatics B)	授業コード	K003051
担当教員名	安東 慎一郎		
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	情報技術や情報社会に関する基礎的知識を有していることが望ましい。		
受講心得	情報教育や情報社会の動向について興味・関心を持つよう心がける。		
教科書	高等学校学習指導要領解説「情報編」		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

授業の目的	高等学校における専門教科「情報」の内容を理解し、授業の実践力を養います。そのために学習指導要領における教育目標と教科内容、留意事項について理解し、授業立案のために必要な事項、教育におけるICT化、情報教育に関する課題等についても学習します。□
授業の概要	専門教科「情報」について、学習指導要領の変遷、教育目標と教科内容、留意事項を学習します。また、教育におけるICT化や関連事項について、授業立案のために参考事例の調査研究や視聴覚教材を利用した学習を行います。さらに学習した内容をもとに、教科「情報」の指導案を作成し、発表、相互評価を行います。□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：学習指導要領概説</b> 学習指導要領の改訂経緯、趣旨、要点について学習します。	授業内容よりレポート作成
<b>第2週：専門教科情報総説</b> 専門教科情報の目標、科目編成について学習します。	
<b>第3週：情報産業と社会</b> 「情報産業と社会」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。	
<b>第4週：課題研究</b> 「課題研究」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。	
<b>第5週：情報の表現と管理</b> <b>情報の表現と管</b> 「情報の表現と管理」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。	
<b>第6週：情報と問題解決</b> 「情報と問題解決」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。	
<b>第7週：情報テクノロジー</b> 「情報テクノロジー」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。	
<b>第8週：アルゴリズムとプログラム、ネットワークシステム</b> 「アルゴリズムとプログラム」、「ネットワークシステム」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。	
<b>第9週：データベース</b>	

「データベース」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。		
<b>第10週：情報システム実習</b> 「情報システム実習」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。		
<b>第11週：情報メディア、情報デザイン</b> 「情報メディア」、「情報デザイン」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。		
<b>第12週：表現メディアの編集と表現</b> 「表現メディアの編集と表現」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。		
<b>第13週：情報コンテンツ実習</b> 「情報コンテンツ実習」の目標、内容とその取り扱いについて学習します。		
<b>第14週：教育課程の編成</b> 教育課程の編成について学習します。		
<b>第15週：各科目にわたる指導計画の作成と留意事項</b> 各科目にわたる指導計画の作成と留意事項について学習します。		
<b>第16週：</b>		
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	教科「情報」の概要を理解する
<b>【知識・理解】</b>	教科「情報」の目標、科目構成、配慮事項を理解する 各科目の目標、内容とその取り扱い、配慮事項を理解する
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	指導案を作成し、発表および評価できる
<b>【思考・判断・創造】</b>	教科「情報」の授業立案ができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		50点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		30点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	